

委託業務等に関する質問事項回答

令和8年8月27日現在
徳島市都市建設部河川水路課

【令和8年7月30日～令和8年8月19日提出分】

	資料名	質問内容	回答
1	仕様書P. 29 1. 基本構成・方針	「クラウドサービスは自社製であり、本システムの全機能は自社でサポート、メンテナンスおよび改修が可能であること」とありますが、水道標準プラットフォームやAWS、Azure等のPaaS上に構築したシステムも対象となりますか？対象外の場合はその理由をご教示ください。	対象となります。
2		本業務完了後のサービス利用契約はどのようなものになりますでしょうか。	本業務完了後のサービス利用契約については、本システムの安定稼働を長期的に維持するため、以下の費用項目を含めた包括的な保守・利用契約になります。 (1) プラント監視機能の通信装置・入出力装置の利用料、定期交換費用（耐用年数に応じた受注者負担による機器交換）、障害発生時の対応費用 (2) プラント監視機能のサーバー利用料、ソフト利用料及び通信装置とクラウドサーバー間の通信回線利用料 (3) 画像監視機能のサーバー利用料、ソフト利用料及び通信装置とクラウドサーバー間の通信回線利用料 なお、契約内容については、別途協議を行い、適切に設定します。
3		業務完了後の運用に必要となる費用（クラウド利用料・通信回線費用・通信装置等の貸出費用及びメンテナンス費用）の扱いについてご教示ください。本業務に含む場合、想定される利用年数をご教示ください。	本業務には含まれていません。 費用等につきましては上記回答の通りです。
4		公告及び仕様書に記載の参加資格・条件により、入札参加可能な事業者が限定される可能性があると推察しております。本仕様とされた理由および競争性確保のためにご配慮された点があればご教示ください。	本業務は、市内37か所の排水施設を遠隔監視する重要なインフラ業務であり、本システムを納入する事業者には、確実な業務履行能力に加え、高い信頼性・保守性・セキュリティ水準が不可欠であるため、現在の公告及び仕様書を設定しています。 一方で、競争性確保の配慮としまして、実績の対象期間「過去15年以内」と長く設定し、対象実績も「日本国内の上下水道施設」として地域を限定せず全国での実績を広く認める条件にしています。